

Q12 忘れ物が多かったり，宿題をよく忘れてたりする子どもにはどう対応したらよいでしょうか

子どもの状態

教科書やノートなど学習に必要なものを学校に持って来るのを忘れてたり，音楽室等の特別教室に持っていくときに忘れてりする。

宿題があることを忘れる。

買い物で何を買って帰るのかをよく忘れる。

状態の理解のポイント

- ・ 不注意なため，必要なものを聞いていない。
- ・ 必要なものは分かっているが，確認がいまい加減のために抜け落ちてしまう。
- ・ 短期記憶が苦手である。
- ・ 聴覚情報の記憶や整理が苦手である。
- ・ 視覚情報の記憶や整理が苦手である。

考えられる対応

連絡帳を活用する。

- ・ 決まった時間に連絡帳記入の時間を確保する。
- ・ 翌日持ってくるものや連絡事項等を書くコーナーを決めておく。(図107)
- ・ 聴覚情報の苦手な子どもには，名前を呼んで注意を喚起したり，文字だけでなく，写真カードや絵カード等の視覚情報を活用したり，復唱したりするようにする。
- ・ 視覚情報の入力の苦手な子どもには読み上げるなど音声情報も添えるようにする。
- ・ 子どもがしっかり書いているかどうかを確認する。
(確認のスタンプやシール等を準備する。)

特別教室に持っていくものについては，教材一覧のカードを準備したり，セットにして袋に納めておいたりする。

宿題を入れるファイル等を決めておき，学校でも家庭でも必ずそのファイルに入れることを習慣にする。(図108)

家庭でも学校に持っていくものをまとめて置く場所を決めておくなどの取組をしてもらう。(図109)

保護者からも，学校に来る前に忘れ物がないかどうかを確認して，サイン等をしてもらう。



図107 連絡コーナー



図108 宿題用ファイル



図109 置き場所